

キャラクター名
一之瀬 奈々 (いちのせ なな)

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
	ブラックドッグ				
オプション		年齢	15歳	性別	女性
覚醒	無知	衝動	憎悪	初期侵食率	40%
出自	疎まれた子	経験	裏切られた	邂逅	殺意

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	97
肉体	4	1	0			5	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	0	0	1			1	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志		1	調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
アームブレード	白兵	5r+1	3	9		対象のガード値が-5
1+2+3+6 呐喊切り	白兵	15r+15		9		クリ8 侵食8
100%	白兵	20r+17		9		クリ7 侵食8
ミカヅチ	白兵	13r+15		9		クリ8ダメージロール+3 侵食13

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: UGN幹部	
コネ: 要人への貸し	
携帯電話	
思い出の一品	
ダーマルプレート	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
雷帝「サンダーロード」	P 好奇心	N 無関心		
UGN	P 尽力	N 憤懣		
姉 創 (はじめ)	P 幸福感	N 偏愛		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセ: ブラックドッグ	2	2	メジャー	至近	自身	自動		
効果: クリティカル値がLv分下がる								
雷の加護	5	2	マイナー	至近	自身	自動		
効果: 組み合わせた判定ダイスLv分+								
アームズリンク	5	2	メジャー	武器		対決		
効果: 判定ダイスLv分+								
ハードワイヤード	7		常時	至近	自身	自動		
効果: Lv数の専用アイテムを選択								
マグネットフォース	1	2	オート	至近	自身	自動		
効果: 対象をかばう 行動済にならない メインに一回まで使用可能								
アタックプログラム	7	2	メジャー	武器		対決		
効果: 攻撃の命中値に+Lv×2(14)								
雷鳴の申し子	1	5	メジャー			対決	ピュア	
効果: 最大HP-現在HP分攻撃力を+LV分使用可能								
ミカヅチ	3	5	メジャー				Dロイス	
効果: ダメージロール+3d判定ダイス-2								
ペインエディター	7		常時	至近	自身	自動		
効果: HPの最大値をLv×5する 基本侵食値+3								
タッピング&オンエア	1	1	メジャー	視界		効果参照		
効果: EA/43p								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「許しあうのが仲間、人情ってもんだろ?」「UGNは尊敬できる人ばかりだよ」「ああ・・・学校は暇だ 泣きたくなる位に暇」

カラッとした性格 ちょっとしたことは気にせず自分のすべきことをする UGNの理念を信じ、普通に生きられるのは素晴らしいと思っている そしてそれを壊そうとする異端なるFHを撃退する それが自分の役目だと信じている CNがダサいのが今の悩み 名づけたのはUGNのカウンセラーだ 今度会ったら文句を言おうと決めている 今は自前のCNを名乗っている さあ今日も任務だ がんばろう! ここまでが表の顔 CNは本性を示している カウンセラーは療養させるよう上層部に訴えたがその訴えはとどかなかった

正体はまともに見えるだけの狂人 好意と同等の悪意をつねに胸に秘めているが本人は気づいていない ロイスもだいたいそうになっている UGNに叩き込まれた倫理観のとおり動いているだけで共感などしていない 体よりも精神が機械らしくなってしまった子供 それが彼女 本当の彼女は 裏切りを許容するが許さず 善意を尊ぶが信じず 平和を愛するがその平和が自分をココまで貶めたことを覚えている 普通を生かすために異端が死に続けることに意味があるのか 「アイツら」を許し続けることは正しいのか 心の奥底で考え続けている 例外があるとすれば同じ境遇 力 体を持ちながら 自分とは違う生き方をしている姉だけだろう 彼女にとっての唯一の純粋な希望だ

姉が一人いる プリードも使うエフェクトも同じなので役割が被らないように別の任務に割り振られることが多い そのことに少しイラついている 姉妹二人で家でくつろぐ時間が好き 自分のCNにクローバーを入れたのには理由があったりする